

ASEANジャーナリストを招聘

—小路副会長らと新たな協力関係について懇談—

2023年11月6日～10日

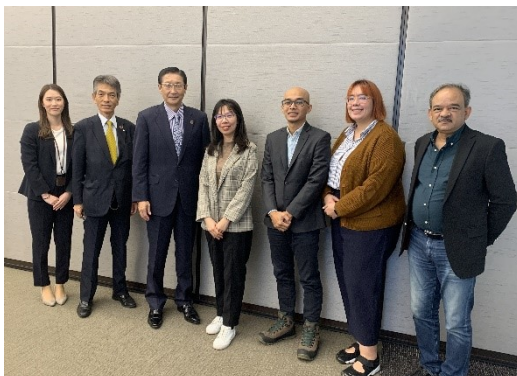
参加者：ミントラ・アデーア ネーション紙 記者、コンテンツクリエイター
 アンドレ・アルディティア ジャカルタポスト紙 エディター
 レ・ティ・マイ・フォン ベトナム・ニュース紙 ビジネスエディター
 オヴァイス・スバニ ザ・ストレーツ・タイムズ紙 シニア特派員

経済広報センターは11月6日から10日にかけて、2019年以来となるASEANジャーナリスト招聘プログラムを実施した。

タイ・ネーション紙のミントラ・アデーア記者、インドネシア・ジャカルタポスト紙のアンドレ・アルディティア エディター、ベトナム・ニュース紙のレ・ティ・マイ・フォン ビジネスエディター、シンガポール・ザ・ストレーツ・タイムズ紙のオヴァイス・スバニ シニア特派員の4名が参加。参加者は、同センターの小路明善副会長（経団連副会長・アサヒグループホールディングス会長）を表敬訪問し、日本企業のグローバル戦略と今後の日ASEAN協力関係について懇談した。また、鈴木馨祐衆議院議員をはじめとする産学官関係者との意見交換、森ビル、日産自動車、日本ガイシ、オムロン、京セラ、味の素への訪問を行った。

10日には総括シンポジウムとして「新たな国際情勢のもとASEAN諸国の現状にどう対応するか～ASEANジャーナリストとの対話」を開催。石井正文学習院大学法学部特別客員教授（元駐インドネシア大使）の基調講演に続き、招聘ジャーナリストによるパネルディスカッションが行われた。日ASEAN友好関係50周年を迎えるなか、今後50年を見据えてASEAN諸国と日本とがいかなる協力関係を築くべきかについて議論。①米中対立など新たな国際情勢のもとで日ASEAN関係の重要性が増していること②ASEAN諸国は、生産年齢人口比率が高いなど成長ポテンシャルが大きく、日本よりも進んでいる分野も多いこと——などを踏まえ熱心な討議が展開された。

以上



一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話 : 03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。